

①事務事業名		事業コード				部課コード		900700		TEL		2921-1022				
		雨水浸透施設設置促進事業				担当部課		下水道維持課								
		開始年度 平成 5 年度 → 終了年度 年度				グループ		排水設備担当								
②事業の概要	事業の種類		☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ 法定受託＋附加						根拠法令							
	分野別計画・指針															
	関連・類似事業		雨水対策事業(下水道整備課)、雨水流出抑制指導事業(建設部河川課)						所沢市雨水浸透施設設置促進要綱							
	総合計画の体系		章 街づくり		節 下水道		基本方針		生活環境の改善と公共用水域の水質保全							
事業開始の背景		都市化の進展に伴い、土地が有していた保水遊水機能が低下し、雨水流出量が増加していた。平成4年7月15日、局地的な集中豪雨にみまわれた際、東川の市街地部分において浸水被害が多数発生した。それを機に雨水対策の一つとして、宅地内浸透施設の普及促進を図るため実施した。														
③事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)															
	都市型水害の抑制の一環として、宅地内等に雨水浸透施設の設置を促進し雨水を地下に浸透させることにより、道路・河川の氾濫防止と地下水の涵養に資することを目的に実施している。															
	対象(誰を、何を対象としているのか) 市内全域の住宅等(街づくり条例の開発事業区域は除く)のうち、排水設備等計画確認申請がされたもの。															
	事業の具体的な内容及び実施方法 市内全域を対象として、宅地等の排水設備等計画申請時及び宅地内の雨水処理を行う際に雨水浸透柵支給を希望した場合、雨水浸透柵・碎石・透水シートを所沢市が無償で支給する。 ただし、設置工事については、所沢市下水道排水設備指定工事に依頼し、設置費用は自己負担となる。															
④経費	《会計種別》		企業会計		平成 26 年度 (千円)		平成 27 年度 (千円)		平成 28 年度 (千円)							
	予算現額				5,000		5,500		5,500							
	決 算 (見込み含む)				4,993		4,718									
	(非常勤特別職員) (臨時の任用職員)		(人)		(人)		(人)		(人)							
	正規職員人件費		0.65 人		5,669		0.70 人		6,062							
	事業費合計				10,662		10,780									
財源内訳	一般財源				10,662		10,780		5,500							
	国・県支出金															
	その他()															
⑤実績	項目名		項目説明		単位				H 26		H 27		H28見込み		将来目標	
	活動実績		設置個数		宅地内に設置した浸透柵		個				424		406		400	
			雨水流出抑制量		設置個数×浸透量		m3/h				49		52		54	
			雨水流出抑制量(累計)		設置個数×浸透量(平成5年からの累計)		m3/h				1,675		1,727		1,781	
⑥成果	項目名		項目説明		単位				H 26		H 27		H28目標値		将来目標	
	成果指標		雨水浸透柵支給申請件数		申請のあった件数の合計		件		目標値		102		105		105	
							実績		105		95		☒ 「実績」拡大図る ☐ 「実績」縮小図る			
	目標達成状況		どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%		達成率		103		90		↑どちらかをチェックしてください			
⑦改善点	(1) 平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)							(2) 平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析								
	下水道維持課窓口に来庁する宅造業者や下水道排水設備指定工事にに対し、雨水浸透柵支給制度をPRし、積極的に活用するようお願いした。							当初見込んでいた申請件数を下回ったため。								
⑧評価	評価		☒ 継続 ☐ 終了		事業実施方法(複数選択可)		☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 改善・効率化 ☒ 現状維持 ☐ その他		理由		雨水対策の一つとして、宅地内等に雨水浸透施設を設置することは、有効な手段であることから、今後も事業を継続する。					
			次年度予算		☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 現状維持		理由		近年、集中豪雨が頻繁に発生しているという状況に鑑み、少しでも雨水を抑制できるよう雨水浸透施設を設置するための予算を確保していく。							
	(1) 平成28年度に取り組んでいる状況							(2) 今後の方向性								
	引き続き指定工事店を通じて支給柵の利用を促している。							市の方針として、雨水の敷地内処理を推奨しているため、更なる雨水浸透柵設置の啓発に努め、市民の方に少しでも雨水抑制の協力を促し、河川・道路等への流入を抑えて冠水防止に努める。 また、水洗化の普及と併せて宅地内の雨水浸透柵設置の普及促進を図っていく。								
評価日		H28.8.12		評価者職氏名		下水道維持課長 守谷 秀明										
⑨環境影響	有益な環境影響		3-2水環境の保全・回復		4-5土壌・地盤の保全		有害な環境影響を及ぼす原因活動		契約文書の作成		規制を受ける環境法令等		無			
			5-2安心な都市空間の整備								緊急事態		無			